

静岡知的障がい者サッカー連盟・瀬戸協理事長
「障がい者のコミュニティづくりに力を」

AFCベストグラスルーツ
リーダー賞日本人2人目栄誉

静岡知的障がい者サッカー連盟の瀬戸協正勝理事長(66)がこのほど、県庁で出野勉副知事(71)にアジアサッカー連盟(AFC)選定のAFCベストグラスルーツリーダー受賞を報告した。

グラスルーツとは、年齢や性別、障がいの有無など関係なく、誰もがサッカーを身近

に心から楽しめる環境を提供し、質の向上に努める活動。

県サッカー協会の障がい者部門をまとめるチャレンジド委員会

の会長も務め、県内外で障がい者がサッカーに親しみ、交流を深める機会を増やそうとの取り組みが高く評価され、日本サッカー協会の推薦を経て受賞が決まり、11月21日にマレーシアで表彰を受けた。

視覚障がい者サッカーのFCコレチーボの中村愛都さん(22)、静岡サッカー協会の鳥羽俊秀理事長(62)とともに日本では2人目の栄誉を報告した瀬戸協理事長は、出野副知事から祝福を受け「障がい者のコミュニティづくりにもさらに力を入れていきたいです」と意欲を高めた。



出野副知事(左から2人目)に受賞を報告した瀬戸協理事長(右から2人目)。左は鳥羽氏、右は中村愛都さん